

はるひ野町内会が思い描く
「コミュニティづくり」とは

はるひ野町内会
2015. 8. 26



はるひ野町内会が思い描く

「コミュニティづくり」とは

(1) 設立からの振り返り

(2) 最近の施策

(3) 今後の方向性 & 課題



1. 設立からの振り返り

1) 組織整備に費やした8年間

2004年(平成16年)10月設立

「自分たちで新たな街を作り上げたい」という思い

90会員からのスタート 現在は1,840会員

組織化と権限移譲

月次役員会(町内35地区の代表者と執行部を集めての審議

承認機関)と部会活動(環境・交通・防犯等)の両輪運営

施策実施判断を会長 部会に委譲し、各部会の自主性を尊重

総会・役員会等の資料詳細化

転入者でも「読んでわかる総会・役員会資料」が必要

キーワードは可視化 記載が詳細化、ページ数が増加



1. 設立からの振り返り

2)活動の特徴・課題

ビジネスマンの参画

転入者は30～50歳代が多い

企業マネジメントを活用

異業種交流の場を提供

部会活動を中心に懇親会を実施

町内会が地元活動の中心に

徐々に高まる会員からの期待

執行部メンバーの負担増加

イベント開催までやる余裕がない



2. 最近の施策

1) 副会長の人数変更

5人（25～26年度） 3人（27年度から）

副会長の作業範囲(一部)を事務局に移管、事務局拡充
執行部メンバー交代の容易化を考え、参加しやすい環境を整備、
作業負荷を軽減

2) 他組織への主体的な連携強化（3.11を契機に）

自主防災組織の本格的整備 ~ 防災部会は発展的解消

自主防災観点での黒川町内会・近隣マンションと連携強化

(例：防災訓練・AED訓練など共同実施)

リーダーシップを持って推進

当町内会外のことも検討、配慮する必要が出てきた



2. 最近の施策

3) 新たな取り組み ~ 10周年イベント

記念誌発行 (2014年10月)

町内会活動の10年間の記録、保存
運営方針・推進方針を可視化、共有化

ドッジボール大会 (2015年9月6日)

多くの方々が参加できるイベントを開催したい
子どもも大人も楽しめるイベントを！

黒川町内会(協賛決定)や近隣マンションにも声掛け
まずは、やってみることが大事！

町内会の枠を超えたエリアマネジメントが必要
になってきている



3. 今後の方向性と課題

1) 今後の方向性

町内会 = 地元の最大コミュニティ

- ・「楽しいことは町内会から」を実践していきたい
- ・将来、子どもたちが「戻ってきたい街」でありたい

緑豊かで安全安心な、住民が気持ちよく生活できる街を維持

町内会の枠を超えた活動推進

自主防災組織の他組織連携、交通/防犯問題の連携強化が必須
単なる「情報連携」レベルを超越(= エリアマネジメントが必要)

2) 当町内会で可能な対策

会員の期待をさらに吸い上げて、施策へ反映

会員全員が企画立案・推進できる体制、ルールを整備
柔軟性の高い組織に変更



3. 今後の方向性と課題

3) 川崎市・麻生区への要望

緑豊かで安全安心な、気持ちよく生活できる街の維持
はるひ野駅前交番設置(用地あり)、防犯カメラ設置強力支援、
緑化維持/支援などの基本施策強化

町内会活動を継続していくための金銭的&人材支援
エリアマネジメントの担い手明確化

川崎市? 麻生区? それとも町内会連合?

近隣する稲城市・多摩市・町田市との連携実現

エリアマネジメント観点では連携必須(防犯・交通・防災等)

町内会はどこまでやっていいのかの明確化

コミュニティづくりを推進する上での拠りどころが無い

考え方は人によってバラバラ 法的根拠のない

町内会の「位置付け」「期待する役割」を整理してほしい

